

★北見工業大学は、「地域連携・社会貢献」「共同研究推進・研究支援」の機能強化を目的とし、学外の皆さまと様々な形で連携し、産学官連携活動を推進しています。

★社会連携推進センターは、大学が持つ「研究」機能を社会のために活用すべく、研究者のシーズと社会のニーズとのマッチングを図る窓口・コーディネート業務や、種々の社会貢献・地域貢献に関する業務の窓口として、北見工業大学の産学官連携活動を推進するセンターです。

No.2

2020.9

- FOCUS
北見市産学官連携推進協議会
- TOPIC
地元中小企業経営者と北見工業大学生との懇談会開催
産業クラスターオホーツクへの新規参画
- スタッフ活動
- お知らせ
北見工業大学紹介映像公開



北見市産学官連携推進協議会（以下、協議会）は、北見地域における産・学・官の連携による新産業の創出や産業クラスターの構築・発展を促進するための産学官連携支援機関です。協議会は2004年度に設立され、これまでに様々な取り組みを進めています。北見工業大学では、社会連携推進センターを中心に協議会活動を推進しています。

協議会活動としては、地元企業の販路拡大や地域の連携、起業家育成に関連するセミナーや研修会等の開催、さまざまな業種の方々が集まる交流会の開催や開催の支援を行っています。また地元企業と大学機関等との共同研究を促進するための取り組みも行われています。さらには、2015年から主に大学で進められている地域志向の研究への支援が行われています。これまで本学では、5件の研究テーマがその対象となっています。2020年度は、本学情報処理センター長升井洋志教授が取り組む「北見市におけるバスロケーションシステムの導入実証実験」への支援をいただいています。

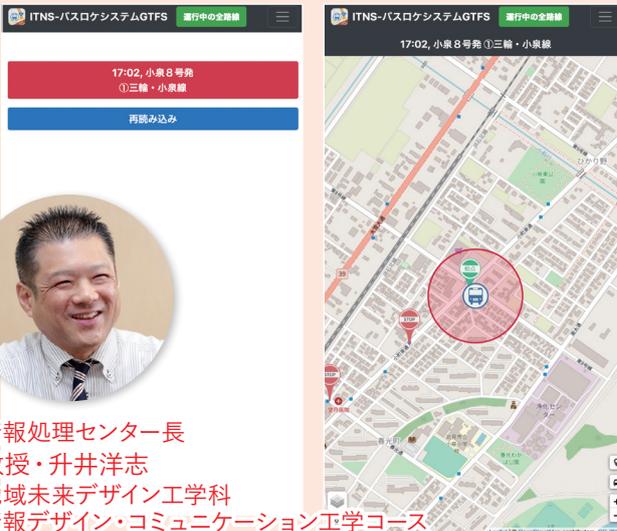
<主な活動>

- ◆産学官連携交流事業（地域を彩る食物語）の実施
- ◆産学官連携による地元企業への支援
- ◆会員団体等が取り組む産学官連携推進事業への協力
- ◆共同研究の推進・関連研究団体等への支援
- ◆オホーツク産学官融合センター・中小企業基盤整備機構北海道支部北見オフィスとの連携

北見工業大学が取り組む研究への支援	
年度	研究テーマ・研究者
2020	「北見市におけるバスロケーションシステムの導入実証実験」 教授・升井洋志（情報処理センター長）
2019	「環境精密制御によるオホーツク産ハーブの高機能化」 教授・村田美樹（オホーツク農林水産工学連携研究推進センター長）
2018	「カーリング情報学再び～市民リーグ戦試合情報の収集と分析」 教授・榊井文人（冬季スポーツ科学研究推進センター長）
2017	「エゾシカ肉及びオホーツク牛肉のブランド価値向上のための研究」 准教授・武山眞弓（地球環境工学科）〔現・教授〕
2016	「再生可能エネルギーを利用した寒冷地域適応型植物工場に対する、効率的養液使用法の構築」 助教・小俣雅嗣（バイオ環境化学科）

北見市産学官連携推進協議会構成（順不同）	
産	北見商工会議所 留辺薬商工会議所 日本政策金融公庫北見支店 北見信用金庫 北見金融協会 北海道中小企業団体中央会網走支部 北海道中小企業家同友会オホーツク支部 産業クラスターオホーツク （一社）北見工業技術センター運営協会 （公財）オホーツク財団
学	北見工業大学 東京農業大学生物産業学部 日本赤十字北海道看護大学
官	北見市

「北見市におけるバスロケーションシステムの導入実証実験」



情報処理センター長
教授・升井洋志
地域未来デザイン工学科
情報デザイン・コミュニケーション工学コース

高齢化社会が進行する状況において「地方創生」を目指すには公共交通機関の充実が必要です。我々の研究室では市民生活を支える重要な交通インフラとしてバスに着目し、バスロケーションシステムを普及させることで利便性の向上を目指します。学術的な取り組みとしては、運行データの正確な把握と解析のためにGPSを用い、路線データの定義のためにGTFSSと呼ばれる統一フォーマットを採用します。蓄積されたデータは路線運行の効率化や、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染拡大防止対策等に役立てられることが期待されます。また、GTFSSでのシステムの一般化によって、北見のみならずその他の地方自治体においても即座にシステムが適用可能となり、「地方創生」の一助になればと考えています。

地元中小企業経営者と北見工業大学生との懇談会開催

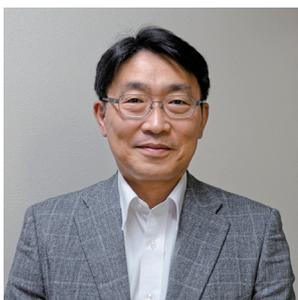
一般社団法人北海道中小企業家同友会オホーツク支部（以下、同友会オホーツク支部）と北見工業大学は2004年6月に包括連携協定を締結しています。これまでに、合同での公開講座の実施や学生のインターシップなど様々な活動を進めています。連携項目には、「学生の就職支援」も盛り込まれています。2020年2月25日、同友会オホーツク支部の主導により地元中小企業経営者と北見工業大学生との懇談会が開催されました。同友会オホーツク支部長の田村友朗氏を含めた地元企業等経営者5人と学生9人、そして社会連携推進センターからはセンター長・教授の有田敏彦が参加しました。懇談会では、これからの北見のあり方について意見交換を行いました。参加学生からは、学生生活の中で取り組んでいることや将来の夢、地元企業への思いなどが示されました。また、「地元企業と学生との接点を今後も継続して持ち続けたい」との意見もあがりました。初めて開催となった本懇親会は、学生にとって接する機会の少ない地元企業との距離が近づく良い場となりました。



産業クラスターオホーツクへの新規参画

産業クラスターオホーツク（旧 産業クラスター研究会オホーツク）は、北見地域の産業界を中心に大学・金融機関・自治体等で構成される組織です。この組織は1997年度に発足しました。オホーツク地域における新たな産業創出による産業の発展・強化を目的としています。産・学・官・金等の連携を強化し、それぞれの専門的立場から各種のクラスタープロジェクトの事業化推進を目指しています。特に、「オホーツク圏の特色ある農林水産物のブランド化と2次産業化」と「安全・安心、健康で快適な生活のためのライフクラスター事業の展開」に焦点を当て、企業、大学、行政、金融機関等のクラスター形成を支援しています。北見工業大学からは、これまで歴代の社会連携推進センター長が参画してきており、現在はセンター長・教授の有田敏彦、准教授の内島典子が幹事およびメンバーとして参画しています。

北見工業大学には、地域の特色を色濃く反映した研究に取り組む研究推進センターが4つ設置されています。このうち2つの研究推進センター「オホーツク農林水産工学連携研究推進センター」、「地域と歩む防災研究センター」からセンター長の村田美樹教授と川尻峻三准教授がメンバーとして参画することとなりました。



オホーツク農林水産工学連携研究推進センター (CAFFÉ)

は、大学が有する高度な技術をオホーツク地域の特色ある第一次産業に展開し、農・林・水産の分野を越えたユニークな工学的支援を推進しています。



オホーツク農林水産工学連携研究推進センター長
教授・村田美樹
地球環境工学科・先端材料物質工学コース

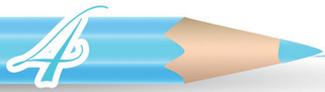


地域と歩む防災研究センター (SAFER)

は、積雪寒冷地域における防災力向上に向け、主に橋梁被害、堤防被害、農地被害に焦点をあてた防災・耐災技術の研究に取り組んでいます。



地域と歩む防災研究センター長
准教授・川尻峻三
地球環境工学科・環境防災工学コース



スタッフ活動 (2020.4 ~ 2020.8)

北見工業大学の社会貢献推進に向けた産学官連携活動

主たる活動	スタッフ	日程
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	4月6日
[北見市] 北見市産学官連携推進協議会令和2年度総会*	会議 有田	4月20日
[北見市] 北見工業大学社会連携推進センター推進協議会令和2年度総会*	会議 有田・内島	4月22日
[北見市] 北見地域企業立地促進協議会*	会議 有田	5月7日
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	5月11日
[北見市] オホーツク産学官融合センター運営会議	会議 有田	5月26日
[3大学] ¹⁾ 令和2年度第1回オープンイノベーションWG	会議 有田・内島	5月28日
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	6月1日
[その他] ²⁾ 北見振興公社評議員会*	会議 有田	6月1日
[北見市] 北見IT推進協会総会*	会議 有田	6月25日
[北見市] 北見市中小企業振興審議会*	会議 有田	6月26日
[その他] ³⁾ 産業クラスターオホーツク令和2年度総会*	会議 有田・内島	7月16日
[北見市] オホーツク産学官融合センター事務局会議	会議 有田	8月3日
[その他] ⁴⁾ 北見市医療福祉情報連携協議会令和2年度総会*	会議 有田	8月17日
[その他] ⁵⁾ オホーツク新エネルギー開発推進機構 再生可能エネルギーを中心とした道内先進事例視察	イベント 有田	8月20日

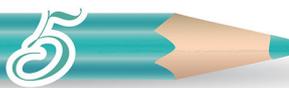
[]内は主な主催機関

*新型コロナウイルス感染防止のため、Web開催もしくは書面審議

1)小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学 2)一般社団法人北見振興公社

3)産業クラスターオホーツク 4)北見市医療福祉情報連携協議会

5)オホーツク新エネルギー開発推進機構



お知らせ

北見工業大学紹介映像公開

北見工業大学では、公式YouTubeサイトにて大学紹介の映像を公開しました。北見工業大学が取り組む教育、研究活動そして学生生活を紹介しています。北見工業大学が位置する北海道北東部のオホーツク地域、そして北見市は、明瞭な四季と豊かな自然環境に恵まれ、日本の食料宝庫とも言われる第1次産業を主産業とする地域です。これら地域の魅力もたっぷりと盛り込んだ15分ほどの映像となっています。ぜひご覧ください。



〒090-0013 北海道北見市柏陽町603番地2
TEL 0157-26-4161 FAX 0157-26-4171

北見工業大学社会連携推進センター (CRC, Center for Regional Community)

CRCが大切にしているのは、社会・地域の皆さんとともに生き・歩みながら社会に貢献している大学の姿です。その想いを目に見える言葉、形や色にしました。キーワードは、様々に繋がっていく「With、ともに」です。CRCのマークは、「社会連携推進センター」の、「Center for Regional Community」の頭文字です。オホーツクの「大地」と「木々」と「空・水」、手を繋ぐ「官」と「産」と「学」を表す茶・緑・青の文字、C・R・Cからなっています。Rの窓にある星は、大学のマークにも入っている北斗、北天に光を放つ北見工業大学です。

<http://www.crc.kitami-it.ac.jp/>
chiiki@desk.kitami-it.ac.jp

